

Y-1 (1300-1312) 日本の先史時代人による雑穀摂取の検出に向けたマクロ栄養素モデルの構築○山口 晴香¹、米田 穰²、近藤 修³、設楽 博己⁴、樋泉 岳二⁵、岡崎 健治⁶¹東京大・院新領域、²東京大・総合研究博物館、³東京大・院理、⁴東京大・院人文社会、⁵明治大・黒耀石研究センター、⁶鳥取大・医学部**Y-2 (1312-1324) 湖雲寺跡遺跡出土の旗本人骨にみられる貴族的形質について**○辰巳 晃司¹、奈良 貴史²¹新潟医福大・院医福、²新潟医福大・リハ**Y-3 (1324-1336) 日本列島江戸時代人における健康状態の地域的特徴**○富田 啓貴¹¹九州大学地球社会統合科学府**Y-4 (1336-1348) 琉球列島における全ゲノム配列データを用いたヒト集団史の推定**○小金淵 佳江¹、松波 雅俊²、今村 美菜子^{2,3}、河合 洋介⁴、徳永 勝士⁴、前田 士郎^{2,3}、石田 肇⁵、木村 亮介⁵¹琉球大・医・先医研セ、²琉球大・院医・先進ゲノム、³琉球大・医附属病院・検査輸血、⁴国際医研セ・ゲノム医、⁵琉球大・院医・人体解剖**Y-5 (1348-1400) 日本人の下戸(げこ)に関する新たな知見**○山口 保晴¹¹人間総合科学大・院人間総合科(歯科医師)**Y-6 (1400-1412) 胸腰神経後枝内側枝の比較解剖学—ヒト、ニホンザル、シロネズミを用いて—**○布施 裕子^{1,2}、時田 幸之輔³、小島 龍平³、相澤 幸夫⁴、熊木 克次⁴、影山 幾男⁴、平崎 鋭矢⁵¹埼玉医大・院医、²(医)リハビリテーション天草病院、³埼玉医大・保健、⁴日歯大・新潟、⁵京都大・霊長研**Y-7 (1412-1424) 霊長類における背側肩帯筋の支配神経と背側斜角筋との関係**○緑川 沙織¹、時田 幸之輔^{1,2}、小島 龍平¹、影山 幾男²、相澤 幸夫²、熊木 克治²、平崎 鋭矢³¹埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科、²日本歯科大学新潟生命歯学部、³京都大学霊長類研究所**Y-8 (1424-1436) 霊長類における出生前後の肩幅の成長様式**○川田 美風¹、中務 真人¹、西村 剛²、兼子 明久²、荻原直道³、山田重人⁴、森本 直記¹¹京都大・院理、²京都大・霊長研、³東京大・院理、⁴京都大・院医**Y-9 (1436-1448) 幾何学的形態解析を用いたマカク属遊離歯化石の種群判定**○浅見 真生¹、張 穎奇²、金 昌柱²、高井 正成¹¹京都大学 霊長類研究所、²中国科学院古脊椎動物・古人類研究所**Y-10 (1448-1500) アウストラロピテクス・セディバの距骨と踵骨の機能的特徴の再評価——主要関節面の向きを中心に**○中村 凱¹、佐々木 智彦²、荻原 直道¹、中務 真人³、諏訪 元⁴¹東京大・院理、²京都大・総博、³京都大・院理、⁴東京大・総研博**Y-11 (1500-1512) 2方向X線透視装置を用いたヒト二足歩行中の足部骨格動態の計測**○根岸 拓生¹、伊藤 幸太¹、Kristiaan D'Aout²、Karl Bates²、荻原 直道^{1,3}¹慶應大・理工、²リバプール大、³東京大・院理**Y-12 (1512-1524) Does shape really matter?**○PINA, M.^{1,2}, MARCÈ-NOGUÈ, J.^{3,2}, DeMIGUEL, D.^{4,5,2}¹Grad. Sch. of Science, Kyoto Univ., ²ICP Miquel Crusafont, Univ. Auto. Barcelona, ³Dept. Path. and Anat. Sci. Univ. at Buffalo, Stat. Univ. New York, ⁴Fund. ARAID, ⁵Ar. Paleontologia. Univ. Zaragoza.